

在セネガル日本国大使館月報

2021年5月

主な出来事

セネガル

(内政)

- 10日、サル大統領は、次回地方選挙の実施日を2022年1月23日とする政令に署名した。同選挙について、与党は2022年1月、野党は2021年12月の実施を求めている。(11日 L'Observateur)

(外政)

- 14日、セネガル政府は、中国から供与された30万本のシノファーム社製コロナワクチンを受領。サル大統領臨席の下、サール保健大臣と駐セネガル中国大使との間で供与に関する署名が行われた。(15・16日 Le Soleil)
- 17～19日、サル大統領はアフリカ経済の資金調達に関するフランス主催首脳会合出席のため訪仏。ラマポーザ南アフリカ大統領、サイード・チュニジア大統領と会談した。サミットにおいてサル大統領は、アフリカ諸国の資本市場へのアクセスを容易にするための経済・財政ガバナンスの世界的な改革が必要であると述べた。(17～19日 大統領府 Facebook、19日 Le Soleil)

(経済)

- 15日、政府は、セネガルの石油・ガス分野の関連情報を登録し、一般公開するためのデジタル・プラットフォームを立ち上げた。グラディマ石油大臣によると、これにより同分野の透明性の強化や行政手続の合理化が期待される。(19日 RFI)

ガーボベルデ

- 28日、カーボベルデ政府は、全ての島を対象として30日間の災害宣言の延長を発表した。(28日 保健・社会保障省)

ガンビア

- 国民党(NPP)と中国共産党は、経験共有や中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)の決定事項の効果的な実行のため、独立・平等・国政不干渉に基づいたパートナーシップを結ぶ。(21日 The Point)

ギニアビサウ

- フランスとギニアビサウの両政府は、1998年の停止以来23年ぶりに、二国間協力の財政支援に関する協定に署名した。駐ギニアビサウ仏大使は、農業分野における二国間協力の発展への期待を表明した。(12日 Odemocrata)

- ・文中の「コロナ」とは特別な記載がない限り、「新型コロナウイルス」のことを指すこととする。
- ・閣僚の官職名は適宜省略した形とする。(例:タル外務・在外自国民大臣→タル外務大臣など)

セネガル

(内政)

内政一般

- 2019 年大統領選挙時の選挙人名簿に係る監査委員会は最終報告書を公表し、セネガルの選挙人名簿は「信頼でき、2019 年の大統領選挙の運営も問題がなかった」と結論付けた。野党はこれを否定し、選挙人名簿は国の人口比率を反映していないと主張した。同報告書によると、18～25 才の若者は約半数しか登録されていない。(5 日 RFI)
- ジュルベル州では今年 2 月からポリオの感染確認が相次いでおり、これまでに計 14 名の感染が確認された。保健省は 5 月 6～8 日に同州でポリオワクチン接種キャンペーンを実施予定。(7 日 L' Observateur)
- 10 日、サル大統領は、次回地方選挙の実施日を 2022 年 1 月 23 日とする政令に署名した。同選挙について、与党は 2022 年 1 月、野党は 2021 年 12 月の実施を求めている。(11 日 L' Observateur)
- セネガル政府は 18 日から、西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)が求めている通り、セネガル出入国者の PCR 検査費用を 4 万から 2.5 万 FCFA に値下げした。(19 日 Le Quotidien)
- 29 日から 6 月 1 日にかけてカフリン州とケドゥグ州を訪問したサル大統領は、病院や給水場の落成式等数々の式典に参加した。(29 日～31 日 大統領府 Facebook)

(外政)

二国間関連

- 14 日、セネガル政府は、中国から供与された 30 万本のシノファーム社製コロナワクチンを受領。サル大統領臨席の下、サル保健大臣と駐セネガル中国大使との間で供与に関する署名が行われた。(15・16 日 Le Soleil)
- 17～19 日、サル大統領はアフリカ経済の資金調達に関するフランス主催首脳会合出席のため訪仏。ラマポーザ南アフリカ大統領、サイド・チュニジア大統領と会談した。サミットにおいてサル大統領は、アフリカ諸国の資本市場へのアクセスを容易にするための経済・財政ガバナンスの世界的な改革が必要であると述べた。(17～19 日 大統領府 Facebook、19 日 Le Soleil)
- 28 日、サル大統領は、セネガル訪問中のガーナ外務大臣と会談し、アクラで行われる次期西アフリカ諸国経済共同体(ECOWAS)首脳会合等について協議した。(28 日 大統領府 Facebook)
- 21 日、タル外務大臣はセネガル訪問中のブルキナファソ外務大臣と会談し、3 分野(外交、情報・メディア、若者)の協定を締結した。(22～24 日 Le Soleil)

国際情勢・国連機関支援等

- セネガルは、コロナによる経済危機対策等のため、IMF からの約 3500 億 FCFA の融資借入を決定した。(2 日 RFI)
- 11 日、駐セネガル EU 大使は、ヨーロッパの日(5 月 9 日)に際してタル外務大臣と共に記者会見に出席し、若者の教育や職業訓練の支援推進について言及した。(12・13 日 Sud Quotidien)
- 13 日、サル大統領は、イスラム教の断食明け小祭及びキリスト教の昇天祭に際した国民向けテレビ演説において、イスラエルとパレスチナの紛争に言及し、事態の沈静化を呼び掛けた。セネガル外務省も同様の声明を発表した。(14 日 L' Observateur)

- 世界銀行はセネガルの零細・中小企業の競争力強化のため、800 億 FCFA の財政支援を行う。(25 日 Le Soleil)

日本関連

- 20 日、ジャロ財政大臣と新井駐セネガル日本大使との間で、日本による対セネガル債務救済措置に関する署名が行われた。この取決めにより、債務の一部(約 9380 万FCFA)の返済が猶予される。(21 日 Le Soleil)
- 19 日、新井大使や各関係機関列席の下、国境管理を行う警察機関の能力強化のためのJICAとIOMとの協力締結に関する記者発表が行われた。(21 日 Le Soleil)
- 20 日、新井大使公邸において、マジュール・ジュフ前文化大臣への叙勲伝達式が行われた。ジュフ氏は、セネガルにおける俳句を通じた日本文化推進への貢献が評価された。(22~24 日 Le Soleil)
- 25 日、新井大使とホットウ経済大臣との間で、FRP 船の製造のための 15 億 FCFA の財政支援に関する署名が行われた。(26 日 Le Soleil)

(経済)

経済一般

- コリテ(断食明け小祭)の伝統料理に使用される鶏肉は、小麦の値上がり、コロナや鳥インフルエンザの影響により、価格が高騰している上、商業・中小企業省や畜産・家畜生産省によれば、需要に対して 10%の供給量不足が見込まれている。(12 日 RFI)
- 15 日、政府は、セネガルの石油・ガス分野の関連情報を登録し、一般公開するためのデジタル・プラットフォームを立ち上げた。グラディマ石油・エネルギー大臣によると、これにより同分野の透明性の強化や行政手続の合理化が期待される。(19 日 RFI)
- 21 日、Sonatel 社は、ベナン情報インフラ公社(SBIN)の業務受託に関する取決めを締結。マリ、ギニア、ギニアビサウ、シエラレオネに続き西アフリカ圏での拡大を更に進めた。(22~24 日 Le Soleil)

(社会)

- 10 日、ロシア人選手のドーピング隠ぺいへの関与のため、フランスで司法当局の監視下に置かれていたディアク前国際陸上競技連盟会長がセネガルに帰国。50 万ユーロの賠償金は同氏が以前会長を務めていたセネガルのスポーツ協会 Jaraaf により支払われた。(11 日 RFI)
- ビーチサッカーのアフリカネイションズカップ(CAN)でセネガルは 6 回目の優勝を果たし、ロシアで行われる世界大会への出場権を獲得した。(29 日 APS)

カーボベルデ

- 国立公衆衛生局の調査によると、今日までにカーボベルデで確認されているコロナの変異種は英国型のみである。(6 日 Expressodasilhas)
- 18 日、コレイア首相は、新内閣の閣僚名簿を発表した。(18 日 Inforpress)
- 28 日、カーボベルデ政府は、全ての島を対象として30日間の災害宣言の延長を発表した。(28 日 保健・社会保障省)

ガンビア

- 国民党(NPP)と中国共産党は、経験共有や中国・アフリカ協力フォーラム(FOCAC)の決定事項の効果的な実行のため、独立・平等・国政不干渉に基づいたパートナーシップを結ぶ。(21日 The Point)
- タンガラ外務大臣は、バロウ大統領の特使としてアブジャを訪問し、オシンバジヨ・ナイジェリア副大統領と会談。大統領への親書を手交したほか、ガンビアが ECOWAS 委員会委員長の席を得るための支援要請等に言及した。(21日 The Point)

ギニアビサウ

- フランスとギニアビサウの両政府は、1998年の停止以来23年ぶりに、二国間協力の財政支援に関する協定に署名した。駐ギニアビサウ仏大使は、農業分野における二国間協力の発展への期待を表明した。(12日 Odemocrata)
- エンバロ大統領は2020年2月の就任以来70回以上の外国訪問を行った反面、地方訪問回数は5回足らずであるとして、国内の困窮地域の現状に目を向けるべきであるとの批評の声があがっている。(12日 DW)
- 17日、レベロ・デ・ソウザ・ポルトガル大統領がビサウに到着し、バルボザ外務大臣や駐ポルトガル・ギニアビサウ大使が出迎えた。(17日 Odemocrata)

(注)本月報は、セネガル、カーボベルデ、ガンビア、ギニアビサウの報道を当館限りでまとめたものです。記事内容は、日本政府やセネガル政府の公式見解と異なる場合がありますが、当館では文責は負いかねますのでご了承下さい。 (了)